

<住民登録>

10月1日現在

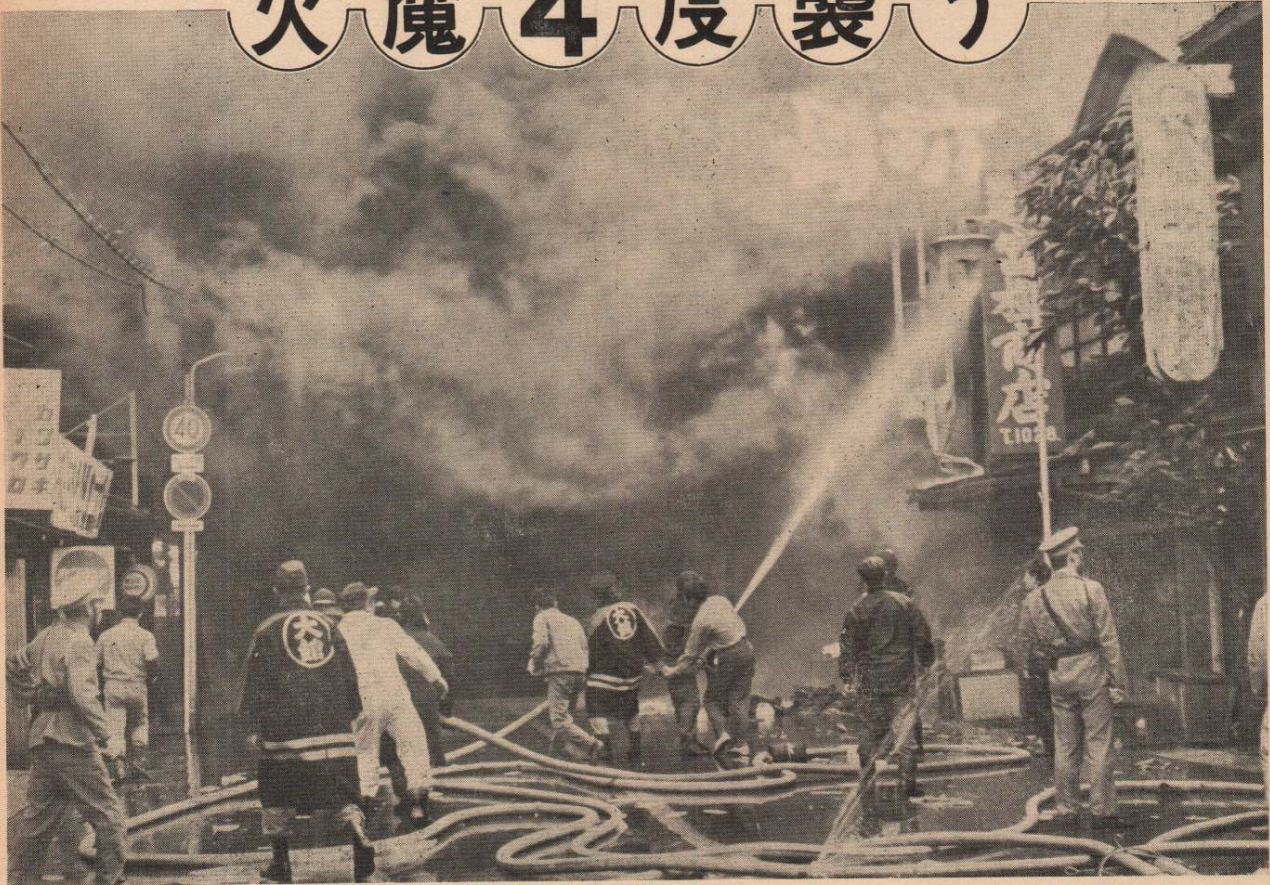
人口 78,503
男 37,744
女 40,759
世帯数 18,832

おおだて

編集と発行 大館市役所
発行年月日 昭和43年11月1日
発行日 毎月1日
定価 1部4円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

火魔4度襲う



「まさか4度の大火が発生するとは？」—
過去3回の苦い経験をした私たち市民は、だれしもがそう思っていたにちがいません。しかし、それがついに起ってしまった。……………

さる10月12日午前11時16分ころ、御成町2丁目に出火した火は、折りからの風速7m（最大瞬間風速11m）の西南西の風にあおられ、またたく間に製材工場や民家、商店街に燃え広がり、必死の消防活動もむなしく、住家216戸、非住家74棟（7万9.425平方m）を焼失し、午後2時30分ころ鎮火した。この附近一帯は、製材工場と木造の民家が密集しており、これに加えて当日の気象状況—湿度56%、温度11.5度、風速7m二が悪化していたことも、大火をまねいた大きな原因であったといわれています。

この火災で、不幸にして罹災された皆さんには本当にお気毒な出来ごとでしたが、この大火で、死傷者が一人もでなかったことは「不幸中の幸」といえましよう。とにかく、罹災者の皆さんには市も全力をあげてその復興に努力していますが、1日も早く立ちあがってくださるよう、心からお祈り申し上げます。

なお、この大火の焼失状況はつぎのとおりです。
●罹災世帯数 248 ●出火原因 調査中
●罹災人員数 917 ●損害見積額 約15億円

大館の大火は、決して誇りとなるものではないが、古い歴史をもっている。市の消防署でわかっている100戸以上の火災をみますと、

- 寛永17年2月24日（中城から出火）300戸焼失
- 寛文9年?月?日（出火場所不明）500戸〃
- 延宝4年4月24日（中城から出火）700戸〃
- 元文2年11月3日（大工町から出火）400戸〃
- 延享3年4月24日（大町から出火）300戸〃
- 明和6年4月29日（馬喰町から出火）150戸〃
- 文化3年1月21日（中町から出火）300戸〃
- 明治元年8月21日（戊辰の役による）750戸〃
- 明治3年4月26日（足軽町から出火）350戸〃
- 大正8年5月21日（中町から出火）550戸〃
- 昭和9年9月5日（弁天町から出火）120戸〃

●昭和28年4月29日
午前4時ごろ馬喰町から出火、南々西の風15メートルの強風にあおられた火は公立大館病院、郵便局、電話局などの官公庁街 住宅など137棟を焼失した（損害5億9千万円）

●昭和30年5月3日
午後1時25分、御成町1丁目から出火、13メートルの風にあおられ、一瞬にして火の海に化し、国鉄大館駅、旅館住宅など598棟を焼失した。（損害7億1千万円）

●昭和31年8月18日
午後11時45分ごろ、東大館駅前から出火、附近一帯の腐朽、木造建築等も手つだつて市の中心街の商店、住宅等692棟を焼失した（損害40億円）

そして今度の御成町2丁目の大火と、市の大火も市制施行後「4度」という活字に書きかえられたわけで 私たちはこれ以上数字を重ねてはならないし この4度を最後に大火の歴史に終符をうたなければならぬ。

大館の
大火のあしあと